

検 定 意 見 書

受理番号 106-180		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	3	右欄下	ライティングのアイコン	生徒にとって理解し難い表現である。 (当該アイコンが図書内に示されておらず、理解し難い。)	3-(3)	
4	22		過去形 (be動詞) 他：30ページ過去進行形, 52ページ副詞の働き・形容詞の働き, 64ページ前置詞の後にくる, 102ページ継続・完了, 118ページ過去分詞, 130ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の (1) のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			who及び67ページ英文のしくみ2 (全体) , 105ページ英文のしくみ3 (全体) , 及び73, 140, 141ページのYour Turn! (全体)			
5	23	Exercise B	対話例 他：31, 41, 53, 65, 83, 93, 103, 119, 131ページのExercise B	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
6	27	4 - 5	take selfies with them	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
7	31	Exercise B ③	Shun /	生徒にとって理解し難い表現である。 (指示文「③はあなたが」との対応)	3-(3)	
8	49	Pair Talk	対話文 他：61, 79, 89, 99, 115, 127ページのPair Talk	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
9	71	脚注	O: Hey, you can't do that! H: Why not? I'm not going to eat your eels. I just want to smell them.	不正確である。 (丸印)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-180		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	72	脚注	英文の赤い印	不正確である。 (赤い印をつける箇所)	3-(1)	
11	86	9	more and more	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	89	脚注4行	MVPの強勢表記	表記が不統一である。 (117ページ脚注2行NP0の強勢表記との対応)	3-(4)	
13	100	Step 1	表	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
14	100	囲み5行	Its head is a camera,	英語の現代慣用によっていない。 (イラストとの対応)	固有 2-(1)	
15	111	1 - 2	"ghost gear" makes up about 10% of all plastic	生徒にとって理解し難い表現である。 (110ページのmuch of the plastic waste is fishing gearとの対応。)	3-(3)	
16	137	脚注左	音読と朗読の違い (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (音読は相手に伝えることを意識しなくてもよいと誤解するおそれ)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-181		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	21	脚注 3 行	10 provide...for～	誤記である。 (行数)	3-(2)
2	22	全体	Summary1, 2(全体) 他：36, 50, 64, 84, 98, 112, 126, 140, 154 ページのsummary1, 2	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
3	32	中段	Do you know any song with the word “fireflies” in it?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)
4	33	6 － 7	They flash light when they look for food. The light attracts small fish.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
5	45	側注 2 行	Major Leagueの強勢表記	不正確である。	3-(1)
6	47	下から 3行	(hope/ I/ that)will	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
7	48	上段	developing country	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (イラストとの対応)	3-(3)
8	48	中段	What do you think of these words?	英語の現代慣用によっていない。 (these words)	固有 2-(1)
9	49	側注 1 行	major leaguerの強勢表記	不正確である。	3-(1)
10	49	2	It has come true.	英語の現代慣用によっていない。 (1行目Yoshida’s childhood dream was to be a major leaguerとの対応)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-181		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	60		Can you think of any example of mitate in Japanese culture?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	
12	63	側注 1 行	social media	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
13	66	Listen and Answer	3. a. 25,000 他 : b.2,500 c.250	表記が不統一である。 (April 2. との対応)	3-(4)	
14	82	上段	wild animal	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
15	94	上段	six days 他 : twelve days	表記が不統一である。 (24 days との対応)	3-(4)	
16	96	中段	What are some unnecessary things you have bought before?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
17	100	中段 Listen and Answer	Did the people in Groups A buy more unnecessary food?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	109	11	The day when humans also become plastic victims will soon come. 他 : 108ページGrammar4行	英語の現代慣用によっていない。 (plastic victims)	固有 2-(1)	
19	111	写真 (真ん中)	THE OCEAN CLEANUP	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
20	111	脚注 1 行	3 aim to do 他 : 8 so far, 10 without doing	誤記である。 (行数)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-181		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	121	側注 3 行	fish and chipsの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
22	123	上段	CHIPS	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
23	125	グラフ 右上	大西洋タラ 東カナダ沖漁獲量推移	学習上必要な出典年次が示されていない。	2-(11)	
24	129	1 Scene3 1行	減少する太平洋クロマグロの数についてペアで話し合しましょう。	相互に矛盾している。 (同ページグラフとの対応)	3-(1)	
25	135	5 - 6	the national high school esports tournament	不正確である。 (固有名詞)	3-(1)	
26	137	グラフ 真ん中	eスポーツの観客の推移	不正確である。 (出典との対応)	3-(1)	
27	139	3	Can you think of any reason, Mr Yoneda?	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	
28	149	14	She adds laughing,	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
29	153	5	She explains this change in career	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
30	181	16	his balls often went over a net	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-181		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
31	181	20	because of Yoshida's balls	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
32	183	8	Japanese people ate tuna for sushi too much	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(ア)の「…日常的な話題について…情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	2 - 3	Map of the Textbook	各Lessonの各技能アイコン	生徒にとって理解し難い表現である。 (Map of the Textbookの各アイコンと本課との対応)	3-(3)	
4	6 - 7		Speakingにつなげる英語の効果的な練習方法 (全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (実際のコミュニケーションとの対応について)	3-(3)	
5	7		サイト・トランスレーションの活動及び説明	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に、又は日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	21	Listening Strategy ①3行	文強勢が置かれる語 他：12行 文強勢が置かれている単語	不正確である。	3-(1)	
7	21	Listening Strategy ①	英文の太字及び丸印	不正確である。	3-(1)	
8	31	Organizer4行	its () creates	生徒にとって理解し難い表現である。 (代名詞が何を指すのか不明確)	3-(3)	
9	37	大問 B1-2行	discussing with your group about the situation	英語の現代慣用によっていない。 (about)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-182		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
10	38		G-2進行形 他：56ページG-3関係代名詞，74ページG-2受動態，G-3助動詞＋受動態，92ページG-1SV0＋to不定詞，110ページG-2過去完了，128ページG-2仮定法過	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について，言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
			去完了，146ページG-2関係副詞，164ページG-3比較の表現		
11	39		Speaking Strategy ①，Reading Strategy ② 他：57ページWriting Strategy ①，75ページListening Strategy ③，93ページSpeaking Strategy ②，111ペ	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
			ージSpeaking Strategy ③，129ページListening Strategy ④，Writing Strategy ③，147ページSpeaking Strategy ④，165ページ Speaking Strategy ⑤，Reading Strategy ⑤，		
			183ページReading Strategy ⑥		
12	39		Reading Strategy ②（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （オーガナイザーとディスコースマーカーについて）	3-(3)
13	41	Comprehension 問 1. a.	a various kinds	英語の現代慣用によっていない。 (a)	固有 2-(1)
14	44	8 - 10	Perhaps the British tea-drinking tradition reminds you of the past ... but the tradition is strong among young adults, too.	英語の現代慣用によっていない。 （文脈との対応）	固有 2-(1)
15	47	Comprehension	FQ4. 他：87ページFQ. 5，103ページFQ. 5，155ページFQ4.，FQ5.	生徒にとって理解し難い問いである。 （凡例との対応）	3-(3)
16	48	左下イラストのキャプション	Boston Tea Party	表記が不統一である。 （4行the Boston Tea Partyと表記不統一）	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
17	48	脚注 1行	Partyの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
18	55	5	Powdered Japanese () (). のピリオド 他：14行New York., 69ページ Organizer表左2段food waste., 3段 has done., 126ページ大問A Part 3の	誤記である。 (不要なピリオド)	3-(2)	
			タイトルeffectively. のピリオド			
19	55	15	Matcha has many () for us to enjoy it!	英語の現代慣用によっていない。 (it)	固有 2-(1)	
20	60 - 61	写真	Universal Bakes Nicome (ユニバーサル ベイクス ニコメ), ピストリーナ ディオ	特定の営利企業の宣伝になるおそれがある。	2-(7)	
21	61	Listen ing	グラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)	
22	65	Retell ing	①のイラスト	生徒にとって理解し難い図である。 (イラストが何を表しているのか理解し難い。)	3-(3)	
23	76	12 - 13	cook them into recipes	英語の現代慣用によっていない。 (into)	固有 2-(1)	
24	91	下段	大問B 他：163, 181ページの大問B	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱い が不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すことや書くことの指導 に当たっては…やり取りや発表, 文章などの具体例 を示した上で, 生徒がそれらを参考にしながら自分 で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-182		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
25	120	右下	グラフ	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(11)	
26	127	5 － 7	How to make frozen eggs...before eating.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
27	137	Compre hensio n問3.	Mira-ori	表記が不統一である。 (本文11行との対応)	3-(4)	
28	163	大問A 表2行	riding bike	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
29	182	大問A	Heatstrokeの英文	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (熱中症の応急処置について誤解するおそれ)	3-(3)	
30	191	6	スペルの違い	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (スペル)	3-(3)	
31	192	左上表 Vowels の2段	you	不正確である。 (見出しの音素との対応)	3-(1)	
32	192	右上表	Alternative spelling(s)の5段 bat, cap 他：6段above, 9段casual, influence, 13段play, 15段voice, 右 下表3段part, arm, 10段flower, 193	相互に矛盾している。 (Alternative spelling(s)の例として相互に矛盾)	3-(1)	
			ページ表1段pot, 2段build, bottle, 8段violin, 9段tooth, throw, 10段 this, these, 15段home, house, neighborhood, 24段yacht, York			
33	192	右上表	11段dawn, sauce 他：13段day, make, 14段sky, time, 17段boat, rope, 右下表 4 段warm, fork	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-182		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅠ	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
34	193	右下表	Alternative spelling(s)の17段 suggestの青字	不正確である。	3-(1)
35	194 - 203	下段	Exercise（全体）（10箇所）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の（１）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-183		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)	
2	10	下から1-2行	Two major Chinese dialects, Mandarin and Chinese, 他：14ページ11行Cantonese is the main dialect, 14行Mandarin is the other dialect,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (dialectについて誤解するおそれ)	3-(3)	
			18ページ5行Mandarin is the other dialect			
3	16	中段4.	about timeline	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
4	18	G1	Let's Think(全体) 他：G2, G3, 34ページ(3箇所), 52ページ(3箇所), 74ページ(3箇所), 92ページG2, 108ページG1, 126ページG1, G3, 142ページ(2箇所)のLet's Think(	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げておらず、また、用語や用法の指導に偏ることがないよう適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)	
			全体)			
5	22	7	Is English spoken by the most people?	英語の現代慣用によっていない。 (the most people)	固有 2-(1)	
6	34	G1 b.	What do you prefer?	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
7	37	Tips6行	to doの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)	
8	43	中段2行	to start.	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない。)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-183		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
9	50	下から 3行	Which initiatives of Kamikatsu do you think is	英語の現代慣用によっていない。 (initiativesとisとの対応)	固有 2-(1)
10	61	3 - 4	If waste plastic is not recycled, it ends as litter.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
11	64	下から 2行	the Ocean Cleanup sunglasses	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
12	71	右欄 Timeli ne	1980s Number of native speakers 1984 First Punana Leo	表記が不統一である。 (冠詞がない。)	3-(4)
13	98	1	a time you made a silly mistake	英語の現代慣用によっていない。 (a time you made)	固有 2-(1)
14	103	Tips3 行	encourageの発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)
15	112	5	climbing mountains aged 10	英語の現代慣用によっていない。 (aged 10)	固有 2-(1)
16	126	G2	Let's Think(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
17	140	表2.	What some other agencies are involved?	英語の現代慣用によっていない。 (some)	固有 2-(1)
18	161	G2	不定詞の受け身(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」 の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」 について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げ ていない。	固有 1-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-183		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
19	174	中欄19行	native speakerの発音表記 他：175ページ左欄23行professorの発音表記	不正確である。 (語末の発音表記)	3-(1)	
20	182	右欄30行	povertyの発音表記	不正確である。 (語末の母音表記)	3-(1)	
21	198	Kimono	Coming-of-age Day	誤記である。 (age)	3-(2)	
22	214	左上表 Vowels の2段	you	不正確である。 (見出しの音素との対応)	3-(1)	
23	214	右上表	Alternative spelling(s)の5段bat, cap 他：6段above, 9段casual, influence, 13段play, 15段voice, 右下表3段part, arm, 10段flower,	相互に矛盾している。 (Alternative spelling(s)の例として相互に矛盾)	3-(1)	
			215ページ表1段pot, 2段build, bottle, 8段violin, 9段tooth, throw, 10段this, these, 15段home, house, neighborhood, 24段yacht, York			
24	214	右上表	11段dawn, sauce 他：13段day, make, 14段sky, time, 17段boat, rope, 右下表4段warm, fork	不正確である。	3-(1)	
25	215	右下表	Alternative spelling(s)の17段suggestの青字	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-184		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などから必要な情報を聞き取り, 概要や要点を把握する活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして, 情報や考え, 気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
5	12	囲み	rightの[] 他: 発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
6	17	COMMUNICATE	② 他: 19, 25, 27, 33, 35, 43, 45, 51, 53, 59, 61, 71, 73, 79, 81, 87, 89, 91, 97, 99, 101ページの②	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
7	20	SKILLS	looksの下	不正確である。 (丸印がない。)	3-(1)	
8	28	FOCUS ①	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について, 言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-184		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
9	32	側注4行	exactlyの発音表記	表記が不統一である。 (126ページ左欄4行exactlyの発音表記との対応)	3-(4)
10	37	ACTION 4行	The dog is doing shampoo	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
11	54	SKILLS	bのイラスト	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (唇を突き出して発音しなければならないと誤解するおそれ)	3-(3)
12	62	FOCUS ③	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
13	66	大問 2	書くことのアイコン	相互に矛盾している。	3-(1)
14	67	大問4	やり取りのアイコン	相互に矛盾している。	3-(1)
15	81	COMMUNICATE5行	any other symbol	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)
16	92	SKILLS 5行	文末を下げ調子で 他：文末を上げ調子で	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)
17	103	TRY 3 ②	can't take] safe water	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有 2-(1)
18	104		2 受動態（全体）及び 3 分詞（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-184		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
19	110 － 115		本文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
20	111	右 1 行	The distance 他：3行The radius, 4行The mass, 5 行The temperature	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
21	111	右欄5 行	－ 2 5℃～3 0℃	誤記である。 (スワングダッシュ)	3-(2)	
22	120	母音	/ɑ:r/ 他：/ɔ:r/	相互に矛盾している。 (見出しとの対応)	3-(1)	
23	122	右欄19 行	attractの発音表記	不正確である。	3-(1)	
24	127	中欄28 行	heartwarmingの発音表記	表記が不統一である。 (左欄下から6行guardの発音表記との対応)	3-(4)	
25	130	右欄下 から3 行	peacockの強勢表記	表記が不統一である。 (右欄下から8行pastimeの強勢表記との対応)	3-(4)	
26	131	右欄27 行	reasonableの発音表記	不正確である。 (母音の発音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-185		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞))	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(イ)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)	
3	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
4	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活	2-(1)	
				動。」)		
5	10	Try1	bのイラスト	生徒が誤解するおそれのあるイラストである。 (唇を突き出して発音しなければならないと誤解するおそれ)	3-(3)	
6	11	Try3	looksの下	不正確である。 (丸印がない。)	3-(1)	
7	11	Try4	文末を下げ調子で 他：文末を上げ調子で	相互に矛盾している。 (例文との対応)	3-(1)	
8	58	側注5行	skillfullyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
9	80	7 - 8	the genre of the painting 他：脚注2行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-185		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
10	80	脚注2行	genreの発音表記	不正確である。 (第1音節の子音表記)	3-(1)
11	111	Your Idea	例1 Are you trying hard to do anything now? 他：I'm trying hard to play tennis	英語の現代慣用によっていない。 (trying hard)	固有 2-(1)
12	112	側注2行	unimaginablyの発音表記	不正確である。 (語頭の母音表記)	3-(1)
13	114	脚注1行	polyglu ladies ポリグルレディ	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がなく、理解し難い。)	3-(3)
14	120	本文	本文右欄6-7行 some people consider it selfish	生徒にとって理解し難い表現である。 (itが何を指すのか、理解し難い。)	3-(3)
15	123	本文	本文中欄最下行～右欄2行 It became highly popular when patients tried it.	生徒にとって理解し難い表現である。 (Itが何を指すのか、理解し難い。)	3-(3)
16	130 - 135		本文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
17	131	右1行	The distance 他：3行The radius, 4行The mass, 5行The temperature	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
18	131	右5行	-25℃～30℃	誤記である。 (スワングダッシュュ)	3-(2)
19	140	母音	/ɑ:r/ 他：/ɔ:r/	相互に矛盾している。 (見出しとの対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-185		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
20	151	最下行	van Gosh	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
					</	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。(内容(1)のエ(イ)a「不定詞の用法」(知覚動詞と共に用いる原形不定詞)	2-(1)	
2	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
3	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
4	7	下段	アイコン 話すこと(発表), 話すこと(やり取り)	相互に矛盾している。 (9ページ上段 アイコンとの対応)	3-(1)	
5	9	右欄下	Writing Lesson10 発表することができる 他: 161ページ下から1行	表記が不統一である。 (アイコン(Writing)との対応)	3-(4)	
6	13	Focus	Check the language focus and try using it. 他: 各レッスンのFocus	生徒にとって理解し難い表現である。 (the language focus)	3-(3)	
7	17	Vocabulary	1. the latest time that still shows you the sun low in the sky	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	21		1と2のアイコン (WritingとSpeaking(発表)) 他: 各レッスンのExercises for communicationの1と2	相互に矛盾している。 (指示文との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
9	21	3	with expression 他：21ページ13行with expression, 各レッスンのExercises for communicationの1と2	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)	
10	21	2③	I am sure (studying/ at/ is/ he/ cooking/ home)now.	英語の現代慣用によっていない。 (studying)	固有 2-(1)	
11	22		3. Present your opinions in front of the classのアイコン (Writing) 他：各レッスンのcommunication Activitiesの3	相互に矛盾している。 (指示文との対応)	3-(1)	
12	27	下から 4行	I can sleep for hours.	相互に矛盾している。 (27ページ下から7行Talk about your special skillとの対応)	3-(1)	
13	32	14	in billions	不正確である。 (単位)	3-(1)	
14	40	12	engineer	相互に矛盾している。 (40ページ最下行 engineerの●との対応)	3-(1)	
15	45	Vocabu lary	2. to push something like a knife into something	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	47	下から 6行	Is there any reason to keep playing it?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
17	47	Activa te 4行	What have you been doing?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	49	17	3. Alice had already been famous when she turned 18 years old.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
19	57	Question2	B He began making more of them to sell.	相互に矛盾している。 (to mass-produce the flakesとの対応)	3-(1)
20	62	側注2行	whetherの発音表記	不正確である。 (子音)	3-(1)
21	62	側注15行	networkの強勢表記	不正確である。	3-(1)
22	74	4	happened	不正確である。 (●との対応)	3-(1)
23	74	6	often	不正確である。 (●との対応)	3-(1)
24	75	下から4行	3 Should all high school students have at least one club activity?	英語の現代慣用によっていない。 (動詞)	固有2-(1)
25	80	10	Violence can cause damage and stains to their elegant clothes 他：86ページPart2 8行	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
26	82	5	as they want to present themselves clean and tidy 他：87ページPart3 4行	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
27	84	4	They serve as role models to follow for their children. 他：85ページ19行, 87ページPart4 3-4行	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
28	89	下から4行	to stay clean	英語の現代慣用によっていない。 (show stains easilyとの対応)	固有2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
29	100	12	expresses hand-drawn animation's texture 他：103ページ9行	英語の現代慣用によっていない。 (名詞)	固有 2-(1)	
30	107	中段左 4-5行	they begin to wake up in each other's bodies.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
31	107	表 タ イ トル	in millions	不正確である。 (単位)	3-(1)	
32	108	8	本来聞こえないはずの音	相互に矛盾している。 (例との対応)	3-(1)	
33	109	6	I am writing you from Japan	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
34	112	脚注5 行	hear of～	誤りである。 (7行との対応)	3-(1)	
35	114	側注4 行	genreの発音表記	不正確である。 (子音)	3-(1)	
36	114	側注11 行	Vermeer's work	表記が不統一である。 (114ページ5行との対応)	3-(4)	
37	115	下から 1行	What famous artworks are you most interested in seeing?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
38	116	4	Vermeer expressed the effects of light skillfully 他：121ページ4行	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
39	129	Comprehension2	① What time is important for curling players?	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
40	132	6	When physicist Murata Jiro 他：137ページ4行	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない)	固有2-(1)
41	139	15	1 My family moved to Osaka the	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない)	固有2-(1)
42	142	1 / 1 /	息を舌の両横から	不正確である。	3-(1)
43	142	2 /f/ と /v/	上の歯で下唇をしっかりかんでから	不正確である。	3-(1)
44	150	3 - 4	The first was considered elegant and respectable and smelled of a single garden flower. 他：155ページ2-3行	英語の現代慣用によっていない。 (and)	固有2-(1)
45	150	4 - 6	The other type included more stimulating fragrances created using animal musk. 他：155ページ4行	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
46	160	脚注4行	purifyの発音表記	不正確である。 (発音表記)	3-(1)
47	163	Vocabulary	equivalent	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
48	169	Vocabulary	2. something that has the strong power to make someone do something	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-186		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
49	176	全体	Skills 5（全体）	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
50	178	2	some local dish	英語の現代慣用によっていない。 （名詞）	固有 2-(1)
51	179	中段 SOBA	Thin spaghetti	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
52	180	下段	gyu-don is veal on rice	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
53	187	中欄 11行	Keith Kellogg	表記が不統一である。 （57ページ8-9行との対応）	3-(4)
54	188	右欄5- 6行	per capita	表記が不統一である。 （179ページ9行との対応）	3-(4)
55	190	母音	/ɑ:r/ 他：/ɔ:r/	相互に矛盾している。 （見出しとの対応）	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	2	Lesson 1	to不定詞	表記が不統一である。 (18ページ2行との対応)	3-(4)	
2	9	右下イラスト	stinging	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
3	10	脚注1行	exploreの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	11	下段	1 Choose & Discuss 他：各LessonのChoose & Discuss	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
5	11	下段	2 Share Your Ideas	相互に矛盾している。 (4ページ13コミュニケーション活動との対応)	3-(1)	
6	13	9	ribbitの発音表記	不正確である。	3-(1)	
7	13	16	Q-2 What pairs of onomatopoeia are given in Table1?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
8	15	中段	Q-1 What kind of words are often paired with verbs in Japanese?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	15		2 Share Your Ideas	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
10	18	10	<否定>	表記が不統一である。 (2行目不定詞との対応)	3-(4)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
11	21	イラスト	GUU-GUU	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	
12	21	下段	2 Explain your choices in a small group. Compare your choices with those of your classmates.	生徒にとって理解し難い表現である。 (your choice)	3-(3)	
13	24	5 - 6	Ikee showed extraordinary talent in swimming	英語の現代慣用によっていない。 (主語)	固有 2-(1)	
14	30	脚注1 行	comebackの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
15	39	Sound Studio 1	take offの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
16	44	脚注2 行	baobabの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
17	46	8 - 9	I not only made the sign, but I also painted his whole shop in bright colors !	相互に矛盾している。 (脚注6行との対応)	3-(1)	
18	47	2	Q-2 What did Miyazaki do for a barber in Ofunato?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	58	1	The world's oceans are polluted by plastic.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
20	58	脚注4 行	recyclingの発音表記	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	60	側注4行	Empire State Building	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
22	60	脚注2行	Empire State Buildingの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
23	61	1	写真のキャプション Plastic washed up	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
24	73	Sound Studio 2	一定の間隔をおいて反復されることによって	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	
25	75	下段	What Do You Know about Chimpanzees?	学習上必要な出典の年次が示されていない。	2-(10)	
26	76	脚注1行	Goodallの発音表記	不正確である。	3-(1)	
27	78	脚注1行	cruelの発音表記	不正確である。	3-(1)	
28	91	グラフ	Time it took for selected online services to reach one million users	学習上必要な出典の年次が示されていない。	2-(10)	
29	92	脚注1行	curiousの発音表記	不正確である。	3-(1)	
30	96	脚注2行	double-checkの強勢表記	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-187		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
31	107	下から 2行	or to the zooの記号（下降調）	表記が不統一である。 （下から3行との対応）	3-(4)
32	109	4 － 5	When does this happen?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
33	109	表	Fact File（全体）	誤りである。	3-(1)
34	109	グラフ	What Do You Know about Samoa?	学習上必要な出典，年次が示されていない。	2-(10)
35	110	22	The men, the women, and even small children	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
36	110	脚注1 行	Papalagiの発音表記	不正確である。 （母音）	3-(1)
37	110	脚注1 行	Tuiaviiの発音表記	不正確である。	3-(1)
38	110	脚注2 行	Erichの発音表記	不正確である。	3-(1)
39	111	1	Q-1 What do you think is “the round metal and the heavy paper” ? 他：Q-2, Q-3, 113ページ1行	相互に矛盾している。 （4ページ11Qとの対応）	3-(1)
40	112	7	When this time noise occurs	表記が不統一である。 （113ページQ-2との対応）	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
41	112	15	thinking, “I don’t have time to be happy.”	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)	
42	125	表	(Gallup 1999)	表記が不統一である。 (127ページENIAC, 1946との対応)	3-(4)	
43	172	下から 11行	Mark the statements	相互に矛盾している。 (設問1. と2. との対応)	3-(1)	
44	176	側注5 行	Nicholas Kristofの発音表記	不正確である。	3-(1)	
45	177	側注1 行	grandmaster	不正確である。 (1 語表記)	3-(1)	
46	180	側注11 行	Kasparovの発音表記	不正確である。	3-(1)	
47	182	側注2 行	CEOの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
48	185	側注36 行	revolutionaryの発音表記 他：190ページ脚注3行completion	表記が不統一である。 (146ページ脚注1行attractionの発音表記との対応)	3-(4)	
49	189	26	practice basics	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
50	189	脚注1 行	Lealiifanoの発音表記	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-187		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
51	192	脚注3行	Louisの発音表記	不正確である。	3-(1)	
52	193	22	AI can help us find information 他：Model WritingのAI（4箇所）	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
53	194	脚注3行	lifestyleの発音表記	不正確である。	3-(1)	
54	203	13	627語	誤記である。 (Word List A と Word List Bとの対応)	3-(2)	
55	203	15	79語	誤記である。 (203ページOPTIONAL LESSONとの対応)	3-(2)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-188		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠	2-(1)	
				とともに話して伝え合う活動。」)		
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝	2-(1)	
				える活動。」)		
3	15	下段	For Your Information 他：各For Your Information	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
4	16	側注 1行	font(s)の[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
5	17	Think	英文に付された日本語 他：各Thinkの英文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
6	17	下段	Grammar (全体) 他：各Grammar(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
7	22	上段	Review & Retellに付されたアイコン (2箇所) 他：各Review & Retellに付されたアイコン (2箇所)	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	
8	23	Practice	大問3, 4に付されたアイコン 他：各Practiceの各大問3, 4に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-188		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
9	24	Listen	表内の日本語 他：各Listenの表内の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日本語で活動すると誤解するおそれ）	3-(3)	
10	26	下段	TRY①（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。）	2-(1)	
11	26	下段	TRY①（全体）	生徒にとって理解し難い活動である。 （活動内容が理解し難い。）	3-(3)	
12	40	Grammar r for Use	②現在進行形	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
13	55		Vocabulary Building ①（全体） 他：113ページのVocabulary Building ②（全体）	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
14	72	7	Can you tell me more about Arta?	英語の現代慣用によっていない。 （Settingとの対応）	固有 2-(1)	
15	111	側注 2行	knowledgeの発音表記	不正確である。 （母音表記）	3-(1)	
16	112	右上表	mar-a-thon, Jap-a-nese	不正確である。 （丸印との対応）	3-(1)	
17	149	Talk Togeth er	問2.	生徒にとって理解し難い表現である。 （活動内容について理解し難い。）	3-(3)	
18	153		大問3.	生徒にとって理解し難い表現である。 （活動内容について理解し難い。）	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-188		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基準
	ページ	行			
19	154	Step ①	英語に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)
20	154 - 155		Step ③及び⑤	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)
21	155	Step⑤ の表③	Actions taken, actions taken	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
22	156	脚注 1行	Potterの発音表記	表記が不統一である。 (英音表記)	3-(4)
23	156	脚注 2行	Timmy Willieの発音表記	不正確である。 (スペースがない。)	3-(1)
24	163	左欄 40-42 行	The city has the Atomic Bomb Dome. It's a popular spot visited by a lot of students. Tourists can also enjoy Hiroshima-style okonomiyaki.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (Hanaの会話について誤解するおそれ)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-189		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	18	脚注	Dublin及びIrelandの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	23	WARM UP!	全体 他：33, 47, 57, 67, ページのWARM UP!	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
4	23	QUIZ!	全体 他：各LESSONのQUIZ! (全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
5	25	CHECK!	全体 他：各SECTIONのCHECK! (全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
6	27	SUM UP! 1 行	aurura	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
7	29	大問2	TRY (全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (目的・場面・状況等が示されておらず、活動できないおそれ)	2-(1)	
8	30	REVIEW !	全体 他：各LESSONのREVIEW! (全体)	相互に矛盾している。 (聞くことのアイコンとの対応)	3-(1)	
9	31	Step 2	全体 他：各LESSONのCHALLENGE YOURSELF! Step 2 (全体)	相互に矛盾している。 (やり取りのアイコンとの対応)	3-(1)	
10	53	SAY IT!	there	不正確である。 (丸印)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-189		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
11	75	STEP 4	例文（全体）	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	75	脚注1 行	separateの発音表記	不正確である。	3-(1)	
13	148	母音2 行	it	不正確である。	3-(1)	
14	148	右欄下 から3 行	*舌先を上に向ける	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-190		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	6	脚注1行	keyword(s)の発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
3	10	表下	Ghanaの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	13	下から2行	I am a Chritian so I go to a church	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	13	最下行	Japanese language is the biggest concerns for people from overseas to live in Japan.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
6	20	下段	Read-aloud(全体) 他：各UnitのRead-aloud(全体)	相互に矛盾している。 (話すこと[発表]アイコンとの対応)	3-(1)	
7	20	下から1-2行	赤い矢印(4箇所)	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)	
8	22	12	enjoy doing it	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞)	固有 2-(1)	
9	29	1 Detail c.	posted the video to social media	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)	
10	31	下から4行	1 If you are going to	英語の現代慣用によっていない。 (仮定法)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-190		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	34	7 － 8	a passive voice 他：9行passive voice 受動態	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
12	36	6 － 7	/l/は…息を出すように発音します。	不正確である。 (息)	3-(1)
13	37	③	翻訳読み(interpreter reading)(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)
14	43	側注4 行	translator(s)の発音表記	不正確である。 (第1強勢が2つある。)	3-(1)
15	44	9 － 10	AI is not be able to(2箇所)	表記が不統一である。 (41ページ19-20行では、AI is not able toと表記)	3-(4)
16	46	下から 2行	communication	表記が不統一である。 (同行intelligenceでは、第1強勢のある文字が赤色)	3-(4)
17	49	4	In which situation do you think is AI useful?	英語の現代慣用によっていない。 (is AI)	固有 2-(1)
18	53	側注4 行	talentedの発音表記	不正確である。 (斜体)	3-(1)
19	58 － 59	20 － 1	Fish accidentally eat these microplastics and damage their health. 他：60ページ23行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
20	63	側注16 行	overfishingの発音表記	不正確である。 (第2強勢がない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-190		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
21	78	最下行	inに付された矢印	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)
22	85	5 - 6	stop eating before your stomach is 80 percent full 他：88ページ6行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (hara-hachibuとの対応)	固有 2-(1)
23	87	側注1 行	0kinawan(s)の発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)
24	90	下段4 行	purposeの発音表記 他：下段5行warの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)
25	90	下段7 行	expectancyの発音表記	不正確である。 (第3音節の子音表記)	3-(1)
26	90	最下行	The first thing / you notice	不正確である。 (不要なスラッシュ)	3-(1)
27	94	1. 下降 調	I like it. に付された矢印	不正確である。 (矢印の位置)	3-(1)
28	104	イラスト横 囲み	was powerful expression	表記が不統一である。 (102ページ21行では, was a powerful expression と表記)	3-(4)
29	105	下段1 行	Make POP to recommend	英語の現代慣用によっていない。 (POP)	固有 2-(1)
30	106	Your Turn 囲み	She looked out the window	表記が不統一である。 (分詞構文b.の例文では, Looking out of the windowと表記)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-190		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
31	112	側注6行	microbialの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)
32	116	14	their lands 他：118ページ15行	英語の現代慣用によっていない。 (13行the empireとの対応)	固有 2-(1)
33	116	17	this allowed a great deal of customs 他：118ページ19行	生徒にとって理解し難い表現である。 (thisが何を指すのか理解し難い。)	3-(3)
34	126	Practice3行	niceの下に付されたX	不正確である。 (Xの位置)	3-(1)
35	126	8	(6)はほとんど同じ長さで発音されます。	不正確である。 ((6)friendshipとの対応)	3-(1)
36	127		まとまりのある英文の書き方(全体) 他：143ページプレゼンテーションのコツ(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
37	128 - 141		Unit 9(全体)	学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(1)
38	142	脱落	this season及び発音表記	不正確である。 (脱落の例として不正確)	3-(1)
39	151	側注21行	Czechoslovakiaの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
40	151	2 Detail	help the children 他：help all the children	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-190		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
41	154	下から4行	unforgettableの発音表記	不正確である。 (語頭の母音表記)	3-(1)	
42	154	下から2行	scrapbookの発音表記	不正確である。 (第2強勢がない。)	3-(1)	
43	162	側注下から4行	funeralの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-191		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のア(ウ)「文における区切り」)	2-(1)	
3	3	右下	の教材を通して	誤記である。 (空欄)	3-(2)	
4	5	Language3行	不定詞・接続詞(that, ifなど)	表記が不統一である。 (45ページ 下段との対応)	3-(4)	
5	11	①「ア」に似た音	背中をたたかれた時のように短く「ア」と発音する	生徒にとって理解し難い表現である。 (背中をたたかれた時のように)	3-(3)	
6	17	16	be a singer	相互に矛盾している。 (15行目what do you want to do in the futureとの対応)	3-(1)	
7	18	脚注3行	1. QR code	誤記である。 (出現順)	3-(2)	
8	24	14 - 15	go to bed early yesterday	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)	
9	28	6 - 7	I was ready	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-191		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
10	37	Step1 3	A. Room service. 他：語句の最後のピリオド，93ページ Step1	表記が不統一である。 (63ページSTEP1 3. の選択肢との対応)	3-(4)	
11	39	下から 8行	sleep is food	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
12	42	下段 表	犬・猫の飼育頭数の推移	最新のものをを用いておらず，学習上の支障を生ずる おそれがある。	2-(11)	
13	50	12	～しそうだ	相互に矛盾している。 (11行目wasとの対応)	3-(1)	
14	56	脚注 3行	World Wide Webの略	不正確である。 (webとの対応)	3-(1)	
15	60		B-1 表内の日本語 他：106ページ, 120ページ, 150ページ のB-1	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
16	61	下から 7行	勤務地：the location	相互に矛盾している。 (日本語との対応)	3-(1)	
17	68	側注 10行	easternの発音表記	誤記である。 (不要なスペース)	3-(2)	
18	69	下から 10行	Right, and	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	77	1	ウェイター 他：4行目	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-191		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
20	88	脚注 4行	Ganeshの発音表記	不正確である。 (母音)	3-(1)	
21	89	12	return to there	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
22	104	4	This may be a coincidence	生徒にとって理解し難い表現である。 (Thisの指す内容)	3-(3)	
23	110	3	choreoの発音表記 他：112ページ側注2行choreography, 6行目choreographer(s), 118ページ側 注19行目choreograph	不正確である。 (母音)	3-(1)	
24	155	脚注 1行	troubledの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
25	176	右段 下から 2行	We'll pick up the trash	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-192		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	19	Pronunciation Practi	2. lookの白丸	不正確である。	3-(1)	
3	25	Language Function	②Q. AとB 他：37ページ②Q. B, 49ページ②Q. A, 61ページ②Q. AとB, 83ページ①Q. と②Q. , 95ページ②QAとB, 119ページ①Q. AとB及び②Q. AとB, 141ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
			②Q. AとB, 155ページ①Q. AとB及び②Q. AとB			
4	31	Pronunciation Practi	4-5行 相手に情報を求めたいとき…驚嘆を表したい時は、下降上昇調が使われます。	不正確である。	3-(1)	
5	31	Pronunciation Practi	例文に付された矢印	不正確である。	3-(1)	
6	55	Pronunciation Practi	4行 2.excited toの発音表記 他：4行 3.displayed there	相互に矛盾している。 (説明との対応)	3-(1)	
7	55	Pronunciation Practi	5行 2. shows youの発音表記	不正確である。	3-(1)	
8	64		Boost Your Vocabulary with Affixes (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(2)	
9	68	4 - 5	Nobody who knew the family could tell one from the others.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-192		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基準
	ページ	行			
10	73	Act 3 大問1.	Think about an amusement park you have visited.	学習上の支障を生ずるおそれがある。 (an amusement parkに行ったことがない場合、活動できないおそれ)	2-(1)
11	77	Pronun- ciatio n Practi	1. Wait!の発音表記 他：2. What areの発音表記	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
12	96 - 97		Speaking & Writing (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (90-91ページ本文との対応)	3-(3)
13	117	TRY 4	② Morimoto	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)
14	124	7 - 8	You should take pride in those things that are important to you and to share them with friends.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
15	146	B. ② (c)	The Red cross	表記が不統一である。 (195ページ12行the Red Crossとの対応)	3-(4)
16	156	11	live in a normal life	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)
17	172	Wrap Up Gramma r	G-2, 3 他：173ページG-1, 175ページG-2, 176ページG-1, 177ページG-1, 178ページG-1, 179ページG-2, 181ページG-2	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
18	182	For Better Readin g &	①センスグループを見つけよう (全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
19	203	左欄下	marketの発音表記	表記が不統一である。 (210ページ右欄中markの発音表記との対応)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-192		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
20	裏見返しⅣ	Sound Advice	(2)③/tʃ/, /dʒ/の説明 他：Ⅴページ右欄7段「アよりも舌の位置を下げて短く」、14, 15段「舌先を…巻き込んだ状態」	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	11	コロン	There are four people	英語の現代慣用によっていない。 (a dogとの対応)	固有 2-(1)	
2	17	写真キャ プション	photograph	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)	
3	19	側注	bulletの上	表記が不統一である。 (18ページ側注characteristicsの上に照らして、4) がない。)	3-(4)	
4	21	吹き出 し	How do you think?	英語の現代慣用によっていない。 (疑問詞)	固有 2-(1)	
5	23	20 － 22	Shadowing(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (Shadowingの方法について説明がなく、理解し難い 。)	3-(3)	
6	23	23 － 25	Sight Translation(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱い が不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような 指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
7	27	グラフ 下	参考URL 他：71, 101, 123ページ, 135ページ(2箇所)	学習上必要な出典が示されていない。	2-(10)	
8	37	年表	appeared(8箇所)	英語の現代慣用によっていない。 (年表で使用するappeared)	固有 2-(1)	
9	43	18	How much are pizzas loved around the world?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	44	上吹き 出し	green house 他：11行green house	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	44	6	Risa 他：8行Daisuke, 11行Risa	表記が不統一である。 (3行Daisukeは斜体で表記)	3-(4)
12	48	7	the stage of the Moon 他：56ページ5行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (stage)	固有 2-(1)
13	60	18	In Inti Raimi festival	表記が不統一である。 (16行ではthe Inti Raimi festivalと表記)	3-(4)
14	63	脚注2 行	quarrelの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
15	63	脚注3 行	gazeの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
16	63	脚注3 行	avoid /	誤植である。 (スラッシュの位置)	3-(2)
17	70	5	of eco-tour	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
18	72	側注2 行	kilometersの発音表記	不正確である。 (第4音節の発音表記)	3-(1)
19	73	7	過去の気象データ検索 2023	表記が不統一である。 (最下行では過去の気象データ検索, 2022と表記)	3-(4)
20	74	側注10 行	botanistの発音表記	表記が不統一である。 (76ページ側注3行cropの発音表記に照らして, 第一音節の母音表記が不統一)	3-(4)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
21	88	側注7行	Amanfrom	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
22	88	最下行	health benefit	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)
23	94	側注1行	initiativeの発音表記	不正確である。 (第3音節の母音表記)	3-(1)
24	94	側注4行	earningsの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
25	94	側注6行	youthの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
26	94	側注7行	MAAHAの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
27	95	最下行	What do you think when you read the message from Taguchi?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
28	98	Step2	Step 2(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)
29	106	側注14行	universalの発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
30	107	写真キャプション	Crossing two arms and open hands Meaning: “No.”	相互に矛盾している。 (1行Meaning of Non-verbal Communication in North Americaとの対応)	3-(1)	
31	108	側注4行	introductionの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
32	108	側注10行	Kikuyuの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
33	114	Step2	Step 2(全体) 他：132ページStep 2(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
34	118	タイトル	聞こえなくなる音 他：9行文末の子音が聞こえなくなることがあります。 13-14行語尾の子音が聞こえなくなることがあります。	相互に矛盾している。 (10～19行1. ～7. との対応)	3-(1)	
35	119	17	going toの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
36	122	側注2行	retrieverの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
37	122	15 - 16	Such dogs are called a “facility dog.”	英語の現代慣用によっていない。 (主語と目的語との対応)	固有 2-(1)	
38	123	21 - 22	I was specially trained for 18-24 months	相互に矛盾している。 (My trainingとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
39	124	側注1行	disorderの発音表記	不正確である。 (第2音節の発音表記)	3-(1)
40	125	9 - 10	a crowded and noisy places	誤りである。 (a)	3-(1)
41	140	側注7行	activelyの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)
42	154	側注2-3行	Medecins Sans Frontieresの発音表記	不正確である。	3-(1)
43	157	最下行	Guess what kind of work are they doing.	英語の現代慣用によっていない。 (are they doing)	固有 2-(1)
44	158	脚注2行	14. try to do	誤記である。 (行数)	3-(2)
45	160	側注7行	Orbinskiの発音表記	不正確である。 (長音符がない。)	3-(1)
46	164	7	was found in France	表記が不統一である。 (162ページ2行ではwas founded in Franceと表記)	3-(4)
47	167	9	in the past one month	表記が不統一である。 (5行ではin the past monthと表記)	3-(4)
48	181	19	a city where locates	英語の現代慣用によっていない。 (where locates)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-193		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
49	185	5	small creatures, about 3 m long	誤記である。 (3 m)	3-(2)	
50	188	5	its enemies	不正確である。 (3行theyとの対応)	3-(1)	
51	188	最下行	allyの発音表記	不正確である。 (第2強勢)	3-(1)	
52	190	2 - 3	According to the section “Why They Glow?,” why is glowing useful in the sea than on land?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
53	190	7	glowing protect	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
54	190	27	b. The	誤植である。 (不要なスペース)	3-(2)	
55	裏見返 Ⅶ	母音3 段目	/a(:)/のイラスト(2箇所)	相互に矛盾している。 (/a:/との対応)	3-(1)	
56	裏見返 Ⅷ	下から 3段目	舌を巻いて	不正確である。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-194		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)d「接続詞の用法」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(1)のエ(i)g「動詞の時制及び相など」(過去完了進行形))	2-(1)	
3	8	8 - 9	Challenge List 他：10ページ3行, 12ページ11行, 16ページ囲み(2箇所), 17ページ9行の同表現	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (challengeの意味について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	13	囲み8行	Do you know / why he is angry?	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (区切って読む例と誤解するおそれ)	3-(3)	
5	27	Sound Tips 2 6-7行	名詞・動詞・・・強く長く発音し・・・ ・の語は弱く短く発音します。	不正確である。	3-(1)	
6	27	Sound Tips 2 最下行	Curry was very expensive, so only rich people could eat it.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (丸印だけを強く読むと誤解するおそれ)	3-(3)	
7	28	表左欄	Before 18th century 他：Early 19th century	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)	
8	40	側注7行	multi	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (単独の語であると誤解するおそれ)	3-(3)	
9	41	イラストのキャプション	short pants	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
10	43	Sound Tips 5行	Who is she?	不正確である。 (3行「文末は下降調で言います」との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-194		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	49	左欄最下行	制服による差別	不正確である。 (出典に照らして不正確である。)	3-(1)
12	77	囲み9行	hot dog及びSit down.	不正確である。 (音の脱落の例として不正確)	3-(1)
13	81	10	I'm sure my friends will say okay	誤記である。 (ピリオドがない。)	3-(2)
14	82	左囲み下	ノンバーバル・コミュニケーションの「声」	不正確である。	3-(1)
15	89	イラストのキャプション	shows guts	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
16	93	下囲み6行	/sʊtoresʊ/ 他：最下行/ekʊsʊpʊresʊ/	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
17	94	表	Famous stories	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
18	96	グラフ	環境省	不正確である。 (出典表示)	3-(1)
19	104	4 - 5	because I have been encouraged by its deliciousness all my life	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
20	111	下囲み2行	IPA（国際音声記号学会）による	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-194		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
21	113	大問3	I saw many terrible pictures in the Dome.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (原爆ドームの中に絵があると誤解するおそれ)	3-(3)	
22	114		内容全体	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
23	136	11	to people in the US, it looks like an alligator	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (アメリカでは月の模様がワニに見えるのが一般的であると誤解するおそれ)	3-(3)	
24	137	10	What image of the Moon do people in Japan have?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
25	149	information 4	Apolo	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
26	158	写真左	Ohshima Port at present	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (写真とキャプションとの対応)	3-(3)	
27	171	脚注1行	Dominicanの強勢表記	不正確である。	3-(1)	
28	189	22	use	表記が不統一である。 (140ページ10行usedとの対応)	3-(4)	
29	189	22	(p. 140, l. 8)	誤記である。 (行数)	3-(2)	
30	190	14 - 15	I like to move my body	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-194			学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
31	191	24	enjoy the wonderful nature	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
32	裏見返 ⅢⅣ		全体	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-195		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	25	10	In addition 他：30ページ9行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)	
2	49	Listening Activity	Q2. (全体) 他：97, 113, 129ページのQ2. (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
3	67	下段	Key Points for Expressing ③ 他：Key Points for Expressing 83ページ①②③, 99ページ②, 115ページ②③, 131ページ①②	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
4	171	Activity	スピーキング (やりとり) のアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	
5	172 - 179		Grammar List (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-196		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	6	14	英語らしい発音を習得しましょう 他：9ページ10行 英語らしく話すことができます 9ページ18行 英語らしく発音しよう	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
2	9	7 － 8	a good father in the future	不正確である。 (●との対応)	3-(1)	
3	16	9	shiratama flour	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
4	19	Step1	Listen and answer 他：各LessonのStep1	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)	
5	19	Step2	Work with your partner 他：各LessonのStep2	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
6	23	18	A smartphone is convenient. What do you like about them?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	24	9	can never turn their phone off	相互に矛盾している。 (Many studentsとの対応)	3-(1)	
8	26	4	go to your bed	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	30	B	B(will) 他：52ページA(受動態)とB(関係代名詞), 53ページA(as)とB(比較級), 74ページA(現在分詞・過去分詞), 126ページB(間接疑問文)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-196		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
10	46	23	nineteen-forties 他：68ページ脚注3行 nineteen-eighties	表記が不統一である。 (20行eihgteen ninety-oneとの対応)	3-(4)	
11	48	7	E-sports are the newest 他：49ページ8行, 12行, 14行, 50ページ 13行(2箇所), 17行, 51ページ11行	表記が不統一である。 (13行目 E-sports isとの対応)	3-(4)	
12	66	13	at one set price	相互に矛盾している。 (67ページ9行at a set priceとの対応)	3-(1)	
13	68	グラフ	Changes in ticket price in three weeks	学習上必要な出典, 年次が示されていない。	2-(10)	
14	108	14 - 15	All of these items are unique, fashionable, and strong	英語の現代慣用によっていない。 (strong)	固有 2-(1)	
15	120	脚注5行	non-alcoholic beerの強勢表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)	
16	122	18	CV and cover letter 他：123ページ10行目	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
17	127	20	1. about a scheduled event 他：22行目	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
18	128	8	cola and fruit gummy candies	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
19	129	1	you can do nothing if the battery runs out	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-197		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	17	9	travelの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
3	32	3	英語らしく読もう 他：7行, 10行, 25行, 33ページ10行 英語らしく発音してみよう, 14行英語らしく音読してみよう	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (英語らしく)	3-(3)	
4	33	6	sit down	相互に矛盾している。 (「消える音」との対応)	3-(1)	
5	93	8 - 12	Comprehension(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
6	125	8 - 12	TRY(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
7	127	脚注1 行	Hawaiiの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
8	132	6	change the hospital	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-198		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のカ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	8	側注 2行	exchangeの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	14		Your Turn!に付されたアイコン 他：各Your Turn!に付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容の対応)	3-(1)	
5	15		One Step Furtherに付された読む活動のアイコン (2箇所) 他：27, 51ページのOne Step Furtherに付されたやりとり活動のアイコン (2箇所)	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)	
6	22	2	Pets change with the times. 他：26ページ大問②4行の同表現, 23ページComprehension①1.Do pets change with the times?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	27	上囲み 7行	with videos	英語の現代慣用によっていない。 (with)	固有 2-(1)	
8	27	大問②	エサやり, におい, 音	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
9	29	中段	「ペアになり, 役を決めて会話をしましょう。」に付されたアイコン 他：53, 83, 111ページ	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-198		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
10	51	中段	大問②（全体）	生徒が誤解するおそれのある活動である。 （日本語で活動すると誤解するおそれ）	3-(3)	
11	67	大問③	・ 7 月 1 日の…参加したい。 ・ クラブ活動…かもしれない。	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。）	2-(1)	
12	81		大問②	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （内容の取扱い2（5）「話すこと…の指導に当たっては…やり取り…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」）	2-(1)	
13	83	2	単語の最後の子音と次の単語の最初の母音がつながって聞こえることがあります。	不正確である。	3-(1)	
14	88	側注 4行	debrisの発音表記	不正確である。 （第1音節の母音表記）	3-(1)	
15	92	11	eco-bags 他：92ページ側注13行，93ページ中段Grammar（2箇所），161ページ左欄8行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
16	106	側注 3行	gatewayの発音表記	不正確である。 （第2音節の母音表記）	3-(1)	
17	107	Grammar 5行	I usually keep this window closed even in summer.	相互に矛盾している。 （Grammar 1行「SV0＋現在分詞」との対応）	3-(1)	
18	113	脚注 2行	broccoliの発音表記	不正確である。 （強勢表記）	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-198		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
19	118	側注 7行	silkの発音表記	不正確である。 (強勢表記がない。)	3-(1)	
20	129	大問①	グラフの英語に付された日本語 (5箇所)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
21	129	大問①	円グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)	
22	139	大問①	(1)-(4)の日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
23	139	大問②	例の英語に付された日本語	生徒が誤解するおそれのある活動である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)	
24	141	3	ほとんど聞き取れなくなることがあります。 他：5行drink, 7行 help, I'd, 12行 out, Walk, 15行get, 19行trip, 21行visit, nextの下線	相互に矛盾している。 (「消える音」との対応)	3-(1)	
25	147	脚注 1行	Maybelleの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
26	151		①スピーチ 他：②ディスカッション, 152ページ Let's Write!	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-199		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のエ(イ)の「社会的な話題について…賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。」)	2-(1)	
2	4	母音1 段目	全身に力を込めて	不正確である。 (全身に)	3-(1)	
3	4	母音2 段目	i:の[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	4	母音2 段目	[i:]から力を抜いて、弱くあいまいに「イ」。	相互に矛盾している。 (見出し発音表記との対応)	3-(1)	
5	4	母音8 段目	イギリス英語では[ə:] 他：母音9段目イギリス英語では[ɔ] 母音10段目イギリス英語では[a:] 最下行イギリス英語では[əu]	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)	
6	13	15 - 19	Let's do it!(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
7	18	側注5 行	spiritの発音表記 他：強勢のある/i/の発音表記	不正確である。 (強勢を付けた小型大文字が小文字/i/の字形になっている。)	3-(1)	
8	18	タイトル	What things encourage Matsuoka?	英語の現代慣用によっていない。 (things)	固有 2-(1)	
9	19	下囲み	SOUND TIPS(全体) 他：各PARTのSOUND TIPS(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
10	25	14 - 20	大問①(全体) 他：26, 39, 40, 55, 56, 71, 72, 91, 92, 107, 108, 123, 124, 159, 160, 175, 176ページのGrammar& Exercises大問①(17箇所)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-199		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	35	下囲み 3行	put yourなどの[t]+[j]は[ʃ]になります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)
12	35	下囲み 3行	If youの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
13	44	17 - 28	Let's do it!(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)
14	47	下囲み 2行	usの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
15	53	下囲み 4行	hasn't 他: Why	不正確である。 (強勢を示す下線がない。)	3-(1)
16	71	15 - 19	大問①(全体) 他: 72ページ10-20行大問①(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
17	83	11	they sometimes can see Mt. Fuji	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (語順について誤解するおそれ)	3-(3)
18	87	最下行	out及びthat	不正確である。 (「落とす」例として不正確)	3-(1)
19	92	G10 c	you are not be able to travel	誤りである。 (are not be able to)	3-(1)
20	93	下段	大問③(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すこと…の指導に当たっては…発表…などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意す	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-199		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
				ること。」)	
21	99	下囲み 2行	an animatedの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)
22	103	下囲み 2行	消えてしまいます。	相互に矛盾している。 (例との対応)	3-(1)
23	105	下囲み 2行	弱く発音されます。	相互に矛盾している。 (同行first createdとの対応)	3-(1)
24	121	最下行	an important resource	相互に矛盾している。 (下から3行「弱く発音される」との対応)	3-(1)
25	128	6	特に、[r]で終わる語の次に母音で始まる語がきたときは気をつけましょう。 他：151ページ下囲み1行間に[r]の音を意識的に入れて	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (イギリス発音の説明になっている。)	3-(3)
26	128	18	(5) He had a key to his success.	英語の現代慣用によっていない。 (a key)	固有 2-(1)
27	128	21	聞こえない音	相互に矛盾している。 (22-23行(1)～(5)の問題との対応)	3-(1)
28	134	側注10 行	concentration campの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)
29	134	最下行	his influence to it lives on	英語の現代慣用によっていない。 (to it)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-199		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーションⅠ	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
30	135	下囲み 2行	「・」は弱められ	相互に矛盾している。 (下から2行just considerとの対応)	3-(1)	
31	148	1 － 5	変化する音(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)	
32	151	最下行	Here is	相互に矛盾している。 (下囲み1-2行との対応)	3-(1)	
33	153	下囲み 1行	前の単語の終わりが…や[m]で	不正確である。 ([m])	3-(1)	
34	155	下囲み 3行	That is / why	不正確である。 (スラッシュの位置)	3-(1)	
35	176		過去完了進行形(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
36	177	15 － 28	大問②(全体)	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-200		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	5	最下行	[]:発音記号 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	9	25 - 26	この場合・・・多くあります。	不正確である。	3-(1)	
3	9	27	thingの下線	不正確である。	3-(1)	
4	9	27	good day	不正確である。 (①の見出し「消える音」との対応)	3-(1)	
5	9	32 - 33	はっきりした音ではなく柔らかい音になることがあります。	不正確である。	3-(1)	
6	31	Questions	3の選択肢a, b, c	生徒にとって理解し難い選択肢である。 (不正解がなく、理解し難い。)	3-(3)	
7	32	1 - 2	Imagine you are drinking a coffee to go 他：36ページ17-18行の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
8	39		Focus on Language (全体) 他：53, 67, 111, 127, 141, 155ページのFocus on Language (全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
9	79	脚注5行	斜体のits 他：脚注6行, 84ページQ2, 85ページ10行の同表現	生徒にとって理解し難い表現である。 (斜体)	3-(3)	
10	99		Step 2 他：157ページ Step 1 及び Step 2	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「話すことや書くことの指導に当たっては…発表, 文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現でき	2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-200		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
				るよう留意すること。」)	
11	102	グラフ	WWFジャパン「海洋プラスチック問題について」2018	不正確である。 (出典表示)	3-(1)
12	129	Your Performance	全体	相互に矛盾している。 (やり取りのアイコンとの対応)	3-(1)
13	148	グラフ	厚生労働省「未成年者の喫煙について」1982	最新のものを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)
14	172	右欄 22-23	舌全体を後ろに引いて	相互に矛盾している。 (左欄の発音表記との対応)	3-(1)
15	175	右欄 5-6	響きのある息 他：175ページ6箇所	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-201		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	3	下段	[]:発音記号 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)	
2	11	下段	Vocabulary 他：各LessonのVocabulary	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
3	12	2	for three bills	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
4	12	3	1,000-yen 他：5,000-yen, 10,000-yen, 13ページ9行1,000-yen, 5,000-yen, 10,000-yen, 157ページ9-10行ten-dollar and fifty-dollar	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
5	19	下段	1840～1931 他：1853～1931	誤記である。 (12ページの年号との対応)	3-(2)	
6	28	4	900 AD 他：34ページ上段900 AD	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	68	20	SDGs 他：76ページ2行	表記が不統一である。 (4行the SDGsとの対応)	3-(4)	
8	87	Vocabulary Box	war situation	表記が不統一である。 (after the warとの対応)	3-(4)	
9	115	19	from outside of	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)	
10	142	17	You can finish the report this week ()()today	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号		106-201		学校	高等学校	教科	外国語	種目	英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準					
	ページ	行								
11	146	24	be full of...	相互に矛盾している。 (13行目との対応)	3-(1)					
12	150	側注1行	Why did Jimmy not need his tools anymore?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)					
13	158	4	hot, rainy, tropical places	表記が不統一である。 (74ページ2-3行との対応)	3-(4)					
14	161	10	the home	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)					
15	163	表	あるコンビニにおける来店客の年齢分布変化	学習上必要な出典の年次が示されていない。	2-(11)					
16	166	[a]	あくびをするときのように口を大きく開けて	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)					
17	168	[θ]	イラスト	相互に矛盾している。 (説明文との対応)	3-(1)					

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-202		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準	
	ページ	行				
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のオ(イ)の「社会的な話題について…対話や説明などを聞いたり読んだりして、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝える活動。」)	2-(1)	
2	8 - 9		品詞、文型、句と節	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)	
3	11	音の連結 1.	an appleの発音表記 他：2. good girlの発音表記	不正確である。	3-(1)	
4	21	下段	Writing (全体) 他：57, 79, 91, 103ページのWriting (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (内容の取扱い2(5)「…書くことの指導に当たっては…文章などの具体例を示した上で、生徒がそれらを参考にしながら自分で表現できるよう留意すること。」)	2-(1)	
5	52	側注 6行	Britishの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)	
6	52	側注 22行	amusingの発音表記	不正確である。 (第2音節の母音表記)	3-(1)	
7	62 - 65		STEPに付されたアルファベットの記号 (7箇所) 他：120-123ページのSTEPに付されたアルファベットの記号 (7箇所), 158-161ページのSTEPに付されたアルファベットの記号 (6箇所)	生徒にとって理解し難い表現である。 (記号の意味を理解し難い。)	3-(3)	
			ファベットの記号 (6箇所)			

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-202		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
8	62	下段	STEP 2	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)
9	63		STEP 3 (全体) 他：121, 159ページのSTEP 3 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
10	63	HOUSE RULES イラスト6	OTHERS' LL NEED IT.	英語の現代慣用によっていない。 (代名詞の形)	固有 2-(1)
11	64		STEP 4及びSTEP 5 (全体) 他：122, 160ページのSTEP 4及びSTEP 5 (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に、又は日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
12	65	STEP 6 表左	「…関連の単語・表現」及び例 他：123, 161ページSTEP 3表左の同表現	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
13	65	STEP 6 表右	「言いたいのに英語で言えなかった単語・表現」及び例 他：123, 161ページSTEP 3表右の同表現	生徒にとって理解し難い活動である。 (活動内容について理解し難い。)	3-(3)
14	67	側注 8行	Susanvilleの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
15	80		G-2 他：92ページG-2, 104, 116ページG-1, 2	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
16	85	側注 2行	Susieの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
17	108	側注 14行	demonの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-202		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
18	111	側注 11行	prefectureの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
19	134	側注 8行	Aesopの発音表記	不正確である。 (第1音節の母音表記)	3-(1)
20	134	側注 16行	biologistの発音表記	不正確である。 (第4音節の母音表記)	3-(1)
21	136	Interaction	If you were an ant, do you think you would immediately notice that a larva wants food?	生徒にとって理解し難い問いである。	3-(3)
22	137	側注 6行	simulationの発音表記	不正確である。 (第1節の母音表記)	3-(1)
23	146	側注 4行	photojournalistの発音表記	不正確である。 (強勢表記)	3-(1)
24	163		パラグラフの構成 他：164-165ページのエッセイの構成	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)
25	165	左下	本論3の英文（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 (文脈との対応)	3-(3)
26	168	Communication Activity	6行 In my opinion, I think	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
27	170	Before You Read 6 行	eco-bags	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-202		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
28	折込み	発音記号一覧 単母音 7段	/ə:r/, 舌は/r/の形で 他：右下「母音+/r/」の表における 見出しの発音表記の/r/(6箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (/r/)	3-(3)
29	折込み	発音記号一覧 「母音の位置」	後方のU	不正確である。	3-(1)
30	折込み	発音記号一覧 右下3段	earの見出しの発音表記	不正確である。 (母音表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-203		学校 高等学校		教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	3	脚注6行	…米国式発音記号…英国式…	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (米国式発音記号や英国式発音記号があると誤解するおそれ)	3-(3)	
2	3	脚注6行	PASSGE	誤りである。 (スペリング)	3-(1)	
3	8	2	全体	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (学習方法について誤解するおそれ)	3-(3)	
4	23		Vocabulary Networking (全体) 他：各CHAPTERのVocabulary Networking (全体)	言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(2)	
5	82	Grammar for Communicic	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
6	103	図	火星と地球との距離や時間を表す表現	不正確である。	3-(1)	
7	103	図	Length of Day (4箇所)	誤りである。	3-(1)	
8	110	大問2	全体	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有1-(3)	
9	123	STEP 4	全体	相互に矛盾している。 (アイコンとの対応)	3-(1)	
10	134	側注下から2行	reconstructionの発音表記	不正確である。 (第2音節の子音表記)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-203		学校 高等学校	教科 外国語	種目 英語コミュニケーション I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
11	163 - 168	側注	発音表記	相互に矛盾している。 (3ページ脚注6行との対応)	3-(1)
12	170	10	That' s right!	不正確である。 (●印)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-204		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	15	囲み	中段の日本語訳（全体） 他：21, 27, 33, 39, 45ページ中段の日本語訳（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」）	2-(1)
2	16	表上段	hamburg steak	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
3	18		④⑤ 他：36ページ①, 42ページ①, 48ページ②, 54ページ②, 60ページ②, 72ページ①, 78ページ①, 84ページ①, 116ページ②, 122ページ②③, 128ページ②	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （学習活動について誤解するおそれ）	3-(3)
			ージ②		
4	24		（全体） 他：30ページ（全体），66ページ（全体），92ページ①, 98ページ（全体），104ページ①②, 110ページ①②,	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日本語で活動すると誤解するおそれ）	3-(3)
5	29	表上段 5行	professional golf player	英語の現代慣用によっていない。 (golf player)	固有 2-(1)
6	31	吹き出し	笑いが起きたら大成功です！	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
7	75	3	What a shame.	誤記である。 （ピリオド）	3-(2)
8	81	4	for classes that are far apart	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
9	83	Expression Focus	A（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）の「単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」）	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-204		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	113	8 - 9	we can eat a lot without many calories	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
11	125	11 - 12	Especially when characters have unique voices	英語の現代慣用によっていない。 (Especially)	固有 2-(1)
12	137 - 167		ちがいがわかる伝わる英文法（全体）	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の（１）のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-205		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)	
3	1	Lesson 5	③・・・、積極的に発表しようとする	相互に矛盾している。 (25ページ右下 PERFORMとの対応)	3-(1)	
4	1	Lesson 9	③・・・、積極的に発表しようとする	相互に矛盾している。 (37ページ右下PERFORMとの対応)	3-(1)	
5	2	Lesson 20	③・・・、積極的に発表しようとする	相互に矛盾している。 (71ページ右下PERFORMとの対応)	3-(1)	
6	13	DIALOG	本文に付された日本語 他：各レッスンのDialogの日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
7	22	全体	本文に付された日本語 他：44ページ, 56ページ, 74ページ, 81ページStep1	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)	
8	27	PERFORM	We mustn't use our smartphone	表記が不統一である。 (最下行smartphonesとの対応)	3-(4)	
9	33	3	Akihabara finally!	英語の現代慣用によっていない。 (副詞)	固有 2-(1)	
10	33	PERFORM	例文	相互に矛盾している。 (自分の夢との対応)	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-205		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	45	Point	Point (5箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
12	45	3 Point	語句の区切りに注意して発音しよう。	相互に矛盾している。 (「I screamとice creamは同じ発音です。」との対応)	3-(1)
13	47	EXERCISES 1	②Hoshino Gen's concert	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
14	64	QUIZ A	質問内容	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
15	84	全体	関係代名詞① 関係代名詞② 関係副詞	学習指導要領に示す「英語コミュニケーションⅠ」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」の〔具体の事項〕について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-206		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)
3	17	上囲み	Model Dialog右欄の日本語訳(全体) 他：各LessonのModel Dialog右欄の日本語訳(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
4	17	下囲み	英語の発音では、日本語と違ってたくさん息を使います。	不正確である。 (断定的に過ぎる。)	3-(1)
5	21	右下囲み4行	your big fan	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
6	23	下囲み	②forecast	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (sandwichに付された強勢に照らして、誤解するおそれ)	3-(3)
7	25	Perform5行	my own business	誤りである。 (主語Heとの対応)	3-(1)
8	31	下囲み	下降調の矢印(2箇所)及び上昇調の矢印 他：47ページSound Cornerの矢印(8箇所)、 55ページSound Cornerの矢印(6箇所)	不正確である。 (矢印の形)	3-(1)
9	31	下囲み	上昇調及び下降調の英文	相互に矛盾している。 (「文末の音調が変わります。」との対応)	3-(1)
10	35	中囲み3-4行	But you can't break off a tree branch.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-206		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	36	中囲み	Scene右欄の日本語訳(全体) 他: 52, 74, 104ページ各Scene右欄の日本語訳(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
12	50	National Flag	国旗の横にあるChina及びVietnamの表記	相互に矛盾している。 (国旗との対応)	3-(1)
13	53	Point!	Point! (7箇所)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
14	53	3 Point!	語句の区切りに注意して発音しよう。	相互に矛盾している。 (「I screamとice creamは同じ発音です。」との対応)	3-(1)
15	65	吹き出し例6行	ordering food little by little in restaurants	英語の現代慣用によっていない。 (little by little)	固有 2-(1)
16	65	右下グラフ	グラフ	最新のものをを用いておらず、学習上の支障を生ずるおそれがある。	2-(11)
17	69	下囲み	(誤)の発音表記(3箇所)	不正確である。	3-(1)
18	73	吹き出し例1-2行	when a typhoon is forecast in the order you should do them	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
19	92	D 10.	Yesterday I met a girl, who knew my name.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
20	116	写真b	ハロヨン	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-206		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
21	116	下から 4行	ジップロック	特定の商品の宣伝になるおそれがある。	2-(7)
22	117	下から 4-1行	例(全体)	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
23	122	中段	Lesson 4 完了形(全体) 他: Lesson 5 受動態(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
24	133	左欄	school trip 修学旅行 school festival 文化祭 excursion 遠足	誤記である。 (アルファベット順になっていない。)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-207		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	2	最下行	Mobil	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
2	12	9	英文の下に付された赤い丸	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (丸の大きさと色が異なるため、二段階の強さがあると誤解するおそれ)	3-(3)
3	12	Check ②	There's a bird in front of the tree.	不正確である。 (太字の語)	3-(1)
4	14	6 - 7	we often worry what other people think about us.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
5	14		Points 他：各LessonのGETにある同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
6	16	4 - 5	I enjoy having two pets and learning about the two different habits.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
7	17	OUTPUT	1 Getting Ideasの表の日本語 他：各Getting Ideasの表の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
8	18		A 現在形・現在進行形及びB 過去形・過去進行形 他：20ページB, 38ページB, 48ページA, 58ページA, B, 68ページB, 76ページC, 78ページA, C, 86ページA, D	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
9	21	大問1 3 a)	My brother went to a school trip to Okinawa.	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞)	固有 2-(1)
10	25	グラフ	【出典】吉川・海崎・藤原・楠奥・松原 (2018)	不正確である。 (出典表示)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-207	学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
--------------	---------	--------	------------	----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	34	8	ninja knives	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ninja knivesをshurikenと誤解するおそれ)	3-(3)
12	76	10	housewife	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
13	110	Expressing Yourself	Bの会話内容	生徒にとって理解し難い表現である。 (AのWhat kind of personという質問との対応)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-208		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。」)	2-(1)
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…段階的な手順を踏みながら、意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)
3	9	Words & Phrase sl行	excuseの[] 他：発音表記の[]	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)
4	10	Useful Expressions	表内の日本語 他：各Useful Expressionsの表内の日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)
5	10	Useful Expressions 表	7-10番 他：16ページ2, 3番, 24ページ3, 5, 8, 10番, 30ページ2, 3, 6番, 38ページ3-5, 7-9番, 44ページ5, 6, 8, 9番, 52ページ4-6番, 58ページ3, 4番,	生徒にとって理解し難い表現である。 (Let's Talkの例で使われておらず、活用方法が理解し難い。)	3-(3)
			66ページ5-9番, 72ページ1-4番, 80ページ1, 8, 9番, 86ページ1, 4, 7番, 94ページ2-4, 6, 7, 8, 9番, 100ページ4-6番, 108ページ1, 3-6, 8, 9番, 114ページ1, 2番, 122ページ5, 6番,		
			128ページ3, 5, 6番, 136ページ1, 5-7番, 142ページ3番		
6	11	右上	Let's Talkに付されたアイコン 他：各Let's ...に付されたアイコン, 62ページSpecial Activityに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンとGoalの活動内容との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-208		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
7	13	Grammar for Speaking	Exercise大問3（全体） 他：各Grammar for Speaking and WritingのExercise大問3（全体）	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 （2（1）単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。）	2-(1)
8	17	上 例 文	⑦Thank you. 他：表⑦、90ページStep①4行Thank you for listening.	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （スピーチの長さに関わらずお礼の言葉が必要だと誤解するおそれ）	3-(3)
9	21	Goal	表内の日本語 他：35ページStep④「●名所」，「●その他」，119ページStep②，③の表内の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日本語で活動すると誤解するおそれ）	3-(3)
10	32		Grammar for Speaking and Writing 過去進行形 他：Grammar for Speaking and Writing 54(完了)，60，68，116(最上級)ページ	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の（1）のエの「文構造及び文法事項」について，言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
11	50	イラストの Menu1 行	Salad 他：4行Soup，7行Main Dish，11行Dessert	英語の現代慣用によっていない。 （名詞の形）	固有 2-(1)
12	50	イラストの Menu10 行	Steake	誤りである。 （スペリング）	3-(1)
13	69	大問2の3)	(a driver, should, wear)	相互に矛盾している。 （想定される答えとイラストとの対応）	3-(1)
14	90	Step② 例	丸枠内の日本語 他：148ページ2) 例の丸枠内の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （日本語で活動すると誤解するおそれ）	3-(3)
15	107	Words& Phrases2行	steering wheelの発音表記	不正確である。 （強勢表記）	3-(1)
16	113	Q5	What will traveling by car like in the future?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

檢 定 意 見 書

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-209		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	6	2	①Unitの目標 他 ⑩Check It Outのスク립ト	表記が不統一である。 (13ページUnit Goalとの対応)	3-(4)
2	6	20	アウトプットする活動。	表記が不統一である。 (句点)	3-(4)
3	14	Sound Tips	very happy	不正確である。 (I'mとの対応)	3-(1)
4	14	11	answer the questions asked 他：各Check It Outのanswer the questions asked	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
5	18	部活動	cultural clubs	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
6	24	職業5 行	craftsman/craftswoman 他：72ページ7行職業・進路	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
7	28	2	オンラインで学校生活の様子について 返信しています 他：145ページ右欄Model2返信してい ます	生徒にとって理解し難い表現である。 (返信)	3-(3)
8	36	打ち合 わせ8 行	残念ながら I'm afraid～	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (残念ながら unfortunatelyとの対応)	3-(3)
9	38	Sound Tips	米語では語末に	不正確である。	3-(1)
10	47	Step1(5)	save tables	英語の現代慣用によっていない。 (tables)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-209		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	51	Work It Out	A 1. our problems	相互に矛盾している。 (思い出との対応)	3-(1)
12	60	Further Expressions	Adachi Museum of Art	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
13	64	9 - 10	in a kitchen	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
14	71	Student A	our interest	表記が不統一である。 (StudentC our strengthsとの対応)	3-(4)
15	76	最下行	Double underline	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
16	86	16	so please ask if	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
17	88	5	apartment A 他：9行apartment C, 11行apartment B, 90ページFurther Expressions apartment A	表記が不統一である。 (Think It Through Apt.Aとの対応)	3-(4)
18	90	Check It Out	Q3 How much larger than apt.A is apt.C?	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
19	92	Sound Tips	全体	不正確である。	3-(1)
20	98	Sounds Tips	/əm/	不正確である。	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-209	学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
--------------	---------	--------	------------	----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
21	106	3	60% of the Earth's surface	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
22	124	8	new jobs that grew out of	生徒にとって理解し難い表現である。 (grew out)	3-(3)
23	130	7	but are also	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
24	141	下段 図	years	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-210		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	6	中段	ASSISTANT・Further Activityの説明	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本課のASSISTANT・Further Activityの活動との対応)	3-(3)
2	16	上囲み 4行	but especially I found the eggs the best	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
3	17	25	field trip 他：133ページ左欄最下行の同表現	相互に矛盾している。 (イラストとの対応)	3-(1)
4	29	3	The foods were delicious.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
5	30	4	the problem of the aging society	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
6	40	4 - 5	Tour guides need much knowledge	英語の現代慣用によっていない。 (much)	固有 2-(1)
7	41	4	That's too bad.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)
8	47	3	drawn	英語の現代慣用によっていない。 (paintingとの対応)	固有 2-(1)
9	54 - 56		例1～例6の英文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
10	63	2	You look at a loss.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-210		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	67	27	Not releasing your stress is bad for your health.	英語の現代慣用によっていない。 (Not releasing your stress)	固有 2-(1)
12	74	上囲み 3行	Judging from information	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)
13	78	15	my host mother forces me not to leave leftover food	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
14	113	Practice ①	(良い点), (悪い点)の例の日本語	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
15	133	右欄24 行	the brass band club	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
16	136	右欄5 行	great nature	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-211		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	5	中段⑤ Use it	Plusは追加の活動です。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (全員が取り組まなくてよいと誤解するおそれ)	3-(3)
2	6	中段	ASSISTANT・Further Activityの説明	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (本課のASSISTANT・Further Activityの活動との対応)	3-(3)
3	8		Model Conversationの日本語訳 他：各Model Conversationの日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
4	16	7 - 9	Which one did you find the best? There were many delicious foods, but the eggs were great.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
5	29	3	The foods were delicious.	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
6	30	4	the problem of the aging society	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞)	固有 2-(1)
7	41	4	That's too bad.	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有 2-(1)
8	47	7	drawn	英語の現代慣用によっていない。 (paintingとの対応)	固有 2-(1)
9	54 - 56		例1～例6の英文に付された日本語	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
10	74	6 - 7	Judging from information 他：76ページ1行の同表現	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-212		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検 定 基 準
	ページ	行			
1	II	Presentation 8行	OK, you please.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
2	4	19	英語らしい発音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
3	12	11	high-school life	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
4	16	Self-review	全体 他：各LessonのSelf-review	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
5	16	4	in your opinion	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
6	24		What do you think?(全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (Children spend too much time onlineとの対応)	3-(3)
7	26	9	the Heian Shrine	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
8	62	18	「(ボランティア団体を)手伝ってくれる生徒たち」とto help them が some studentsを修飾している。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
9	63	26	When you were a child, what did you want to be when you grew up?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
10	64	9	the perfect place	英語の現代慣用によっていない。 (this summer programとの対応)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-212		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	92	24	look ; come, stand	誤記である。	3-(2)
12	96	14	Nana:That's	誤植である。	3-(2)
13	97	21	cafe	英語の現代慣用によっていない。 (librariesとの対応)	固有 2-(1)
14	104	上段 表	such as solar and wind	不正確である。 (renewable energyとの対応)	3-(1)
15	149	右欄10 行	see～[on TV]	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-213		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のイ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝える短いスピーチやプレゼンテーションをする活動。」	2-(1)
				)	
2	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)
3	II	Presentation 8行	OK, you please.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
4	4	19	英語らしい発音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
5	9	CAN-DO	各領域の目標 他：全LessonのCAN-DOでの各領域の目標	生徒にとって理解し難い表現である。 (CAN-DOとの対応)	3-(3)
6	14	Expressions Plus	4 他：22ページ3, 40ページ2, 48ページ1, 2, 3, 56ページ2, 4, 66ページ3, 74ページ4, 92ページ3, 100ページ2, 134ページ3, 4	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
7	16	5	in your opinion	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
8	16	Self-review	全体 他：各LessonのSelf-review	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
9	24		What do you think? (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。 (Children spend too much time onlineとの対応)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-213		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	62	18	「（ボランティア団体を）手伝ってくれる生徒たち」とto help them が some studentsを修飾している。	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
11	63	24	When you were a child, what did you want to be when you grew up?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
12	64	10 - 11	the perfect place	英語の現代慣用によっていない。 (this summer programとの対応等)	固有 2-(1)
13	92	24	look ; come, stand	誤記である。	3-(2)
14	104	上段表	such as solar and wind	不正確である。 (renewable energyとの対応)	3-(1)
15	149	左欄36 行	see～[on TV]	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-214		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	6	22 - 23	英語らしい発音	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
2	9	中段 QA	Questions and Answersに付されたアイコン 他：各Questions and Answersに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)
3	10	脚注 1-2行	右のページの①, ②にはどのような違いがあるでしょうか。気づいたことを…話し合ってみましょう。 他：各Grammar for Expressing Yourselfの脚注1-2行の同表現, 171ページ33行 それぞれの下線部の単語の品詞は何か, 話し合ってみましょう。 , 172ページ24行 下線部が「句」か「節」のどちらかを話し合ってみましょう。	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、用語や用法の指導に偏ることがないように適切な配慮がされていない。	固有 1-(3)
4	10 - 11	脚注 1-2行	「そして、下線部を自由に言いかえて話してみよう。」及び英文①, ②	生徒にとって理解し難い活動である。	3-(3)
5	11	Practice	大問C (全体) 他：13, 21, 47, 49, 55, 57, 65, 67, 75, 85, 91, 93, 101, 103, 109, 111, 121ページのPracticeの大問C (全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)
6	12	Grammar for Expressing	3 「Sが～にある[いる]」を表す (There+be動詞+S～) 他：20ページの4, 38ページの2, 46ページの1, 48ページの2, 54ページの4及び5, 56ページの2, 64ページの4, 66ページの1及び3及び4, 92ページの4, 100ページの3, 102ページの1, 108ページの2, 110ページの2及び3, 120ページの1, 126ページの2, 128ページの1	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
7	15	下	Self-review for Goal Activities (全体) 他：各LessonのSelf-review for Goal Activities (全体)	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
8	65	28	future, because	英語の現代慣用によっていない。 (コンマ)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-214		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
9	68		Task 1（全体）	生徒にとって理解し難い表現である。 （Task 2, Goalとの対応）	3-(3)	
10	85	36	eco-bags	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
11	129	38	What do you usually do in your vacations?	英語の現代慣用によっていない。 （前置詞）	固有 2-(1)	
12	133	Extended Activities	大問1に付されたアイコン 他：135, 136, 138, 141, 143, 144, 145ページの大問1に付されたアイコン	相互に矛盾している。 （アイコンと活動内容との対応）	3-(1)	
13	133	大問1	問②（全体）	生徒にとって理解し難い問いである。	3-(3)	
14	裏見返 IV	Presentation 8行	OK, you please.	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-215		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のウ(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える活動。」)	2-(1)
2	表見返Ⅱ	下から3行	発音表記の[](2箇所)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (発音表記について誤解するおそれ)	3-(3)
3	6	コーナー名	Point 他: Part 1, 7-80ページにあるPoint	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
4	18	26 - 27	(4)の問題	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)
5	94	14 - 28	Expressions(全体) 他: Part 2, 各LessonのExpressions(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に、又は日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
6	110	15	an SNS	英語の現代慣用によっていない。 (SNS)	固有 2-(1)
7	146 - 152		Useful Expressions(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)単に…日本語を英語に置き換えるような指導とならないよう…指導すること。)	2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-216		学校 高等学校		教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
1	全体		図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)	
2	14	30	the sweater my grandma (make) for me	英語の現代慣用によっていない。 (make)	固有 2-(1)	
3	17	7	daughter, which	英語の現代慣用によっていない。 (which)	固有 2-(1)	
4	20	①	アイコン (書く) 他：24ページ①, 28ページ①, 36ページ①, 40ページ①, 44ページ①, 52ページ①, 56ページ①, 60ページ①, 68ページ①, 74ページ①, 80ページ①, 86ページ①	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)	
			①			
5	22	②	アイコン (やりとり) 他：26ページ②, 30ページ②, 38ページ②, 42ページ②, 46ページ②	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)	
6	23	18	yesterday at 6:00 in the evening	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
7	25	23	a World Heritage Site	不正確である。 (「聞こえない音」との対応)	3-(1)	
8	39	16	the stage set walls	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)	
9	45	24	there's is	誤りである。	3-(1)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-216		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	49	③	アイコン（やりとり）	相互に矛盾している。 （活動内容との対応）	3-(1)
11	52	25	shoveling snow	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
12	57	16	with the dog	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
13	61	9	written using a computer 他：32行	生徒にとって理解し難い表現である。 （コンピュータを使ってとの対応）	3-(3)
14	68	17	He often read 他：18行	不正確である。	3-(1)
15	76	24	is she is that trying to take	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
16	77	18	I am looking forward to for your reply	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
17	78	14	The park (that/ where) I cleaned up	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
18	81	12	ramen 他：84ページ19行matcha	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
19	81	19	is different	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-217		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	20		基本文型：there文・レポート文(全体)	学習指導要領に示す「英語コミュニケーション I」の「内容」の(1)のエの「文構造及び文法事項」について、言語活動と効果的に関連付けて取り上げていない。	固有 1-(3)
2	24	B吹き出し1つ目	Are you free on Saturday or Sunday?	生徒にとって理解し難い表現である。(文脈との対応)	3-(3)
3	33	イラスト内	COOK, FLOWER, CAT, DOG	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
4	43	グラフ	三大都市圏および東京圏の人口が総人口に占める割合	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)
5	51	イラスト	乾電池のPOWER 他：169ページ同イラスト	生徒が誤解するおそれのある表現である。	3-(3)
6	71	Furin2-3行	When you look at them	生徒にとって理解し難い表現である。	3-(3)
7	73	グラフ	夏の日中(14時頃)の消費電力(在宅世帯)	学習上必要な年次が示されていない。	2-(11)
8	85	Profile	Profileの日本語訳(全体)	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
9	96	A吹き出し3つ目	eat three times a day	英語の現代慣用によっていない。 (文脈に照らしたthree times)	固有 2-(1)
10	103	グラフ	家庭におけるフードロスの内訳	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-217	学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
--------------	---------	--------	------------	----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	154	B吹き出し3つ目	know the rule 他：A吹き出し4つ目understood the rule	英語の現代慣用によっていない。 (A吹き出し2つ目mannersとの対応)	固有 2-(1)
12	161	グラフ	在留外国人数の推移	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)
13	190		How to Write an Email(全体)	主たる記述と適切に関連付けて扱われていない。	2-(13)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-218		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	全巻	全体	図書の内容全体	学習指導要領に示す内容に照らして、扱いが不適切である。 (内容(3)のア(イ)の「…社会的な話題に関して…意見や主張などを適切な理由や根拠とともに伝え合うディベートやディスカッションをする活動。」)	2-(1)
2	10	下から3行	Did you say so?	英語の現代慣用によっていない。 (文脈との対応)	固有2-(1)
3	16	4	I like K-pops.	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有2-(1)
4	17	Sounds	息を止め(2箇所)	表記が不統一である。 (125ページ左欄/t/ /d/では「息の流れを止めてから」と表記)	3-(4)
5	28	A⑤	Okinawa will be wonderful.	英語の現代慣用によっていない。 (willと文脈との対応)	固有2-(1)
6	30	Model Dialogue	Model Dialogueの日本語訳 他：43, 69, 82ページのModel Dialogueの日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
7	30	Task (例)	take Q Line, transfer to R Line 他：脚注1行take P Line, transfer to Q Line	英語の現代慣用によっていない。 (冠詞がない。)	固有2-(1)
8	32	Example3行	I enjoy festival foods 他：本論④の同表現	英語の現代慣用によっていない。	固有2-(1)
9	33	Task1	Task 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
10	35	Sounds	/a/の説明(全体)	相互に矛盾している。 (124ページ左欄/a(:)/との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-218		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	38	右上囲み	OK or NG?	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
12	39	Sounds	声を出すもの 声を出さないもの	生徒にとって理解し難い表現である。 (ghの発音1行に照らして、理解し難い。)	3-(3)
13	45	13	Daich 他：25行	表記が不統一である。 (11行では、Daichiと表記)	3-(4)
14	45	14	On graduation day	脱字である。 (語注に照らして、アスタリスクが付されていない。)	3-(2)
15	46	Task1, 2	Task 1, 2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
16	57	Sounds	一体化して発音される。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)
17	57	Sounds	I eat it every day.・・・tとiが一体化して「ティ」という音になる。	相互に矛盾している。 (つながる音1行との対応)	3-(1)
18	62	Task1 (1)	remove lint from	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)
19	71	Task1	Task 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
20	73	Sounds	dolphin, relaxing	不正確である。 (発音の仕方との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-218		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
21	85	Task1, 2	Task 1, 2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
22	96	B②語注	*ceder・・・スギ	誤りである。 (スペリング)	3-(1)
23	105	Sounds	にこらない にこる	不正確である。	3-(1)
24	110	グラフ	円グラフ	学習上必要な出典が示されていない。	2-(11)
25	111	Task1	Task 1(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
26	119	Task1, 2	Task 1, 2(全体)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本語で活動すると誤解するおそれ)	3-(3)
27	124	左欄下から2段目	/əʀ/ /ə:r/にある /r/の斜体(2箇所) 他: 125ページ右下囲み下から2-5行 /əʀ/ /r/ /ka:r/にある /r/の斜体(3箇所)	相互に矛盾している。 (「アメリカ英語の音」との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-219		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	13	下段	Talkに付されたアイコン 他：各Talkに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)
2	38	10 - 15	Role-Playの英文の日本語訳 他：各KEEP TALKINGの英文の日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
3	44	写真	egg & milk	相互に矛盾している。 (写真との対応)	3-(1)
4	52	15	Maybe about four	英語の現代慣用によっていない。 (前置詞がない)	固有 2-(1)
5	55	C TASK	アイコン（書く）	相互に矛盾している。 (活動内容との対応)	3-(1)
6	56	Write	騒音	生徒にとって理解し難い表現である。 (noise pollutionとの対応)	3-(3)
7	69	Sounds	inform, imagine	不正確である。 (発音の仕方との対応)	3-(1)
8	87	Sounds	Sounds(全体) 他：150ページ右欄上から3段目 /ər/ と/ə:r/ (全体)	不正確である。	3-(1)
9	92	下段	「国内のラッコ飼育数と施設数の推移」のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)
10	106	illustrator	sell work	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

[illegible]

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-220		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	13	下段	Talkに付されたアイコン 他：各Talkに付されたアイコン	相互に矛盾している。 (アイコンと活動内容との対応)	3-(1)
2	18	18 - 24	Task 2の英文	生徒にとって理解し難い表現である。 (「Task 1で自分が書いたことを話してみよう。」との対応)	3-(3)
3	38	中段	Role-Playの英文の日本語訳 他：62, 82, 96, 126ページのRole-Playの英文の日本語訳	学習指導要領に示す内容の取扱いに照らして、扱いが不適切である。 (2(1)「単に英語を日本語に…置き換えるような指導とならないよう…指導すること。」)	2-(1)
4	45		let me, but now, good night, bad mood, with them, take care, sit down, good time	不正確である。 (「消える音」との対応)	3-(1)
5	49	Sounds	2つの音がつながって…のような発音になります。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (断定的に過ぎる。)	3-(3)
6	69	下	Sounds (全体) 他：150ページ右欄上から3段目 /ər//ə:r/の説明 (全体)	不正確である。	3-(1)
7	86	14	Any problem	英語の現代慣用によっていない。 (名詞の形)	固有 2-(1)
8	92	下段	「国内のラッコ飼育数と施設数の推移」のグラフ	学習上必要な年次が示されていない。	2-(10)
9	109	上段 TASKイ ラスト	印鑑に刻まれた「語」の文字	生徒にとって理解し難い図である。	3-(3)
10	109	28	Warm Wishes.	英語の現代慣用によっていない。 (ピリオド)	固有 2-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検 定 意 見 書

受理番号 106-220		学校 高等学校	教科 外国語	種目 論理・表現 I	学年
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	110	12	one ... manner	相互に矛盾している。 (「マナー」との対応)	3-(1)
12	126	左下図	Book store	英語の現代慣用によっていない。	固有 2-(1)
13	129	Sounds	it (2箇所), in (2箇所), if, scholarship	不正確である。 (発音の仕方との対応)	3-(1)
14	130	25	the warring states period	誤記である。 (語頭の小文字)	3-(2)
15	137	Sounds	top, club	不正確である。 (発音の仕方との対応)	3-(1)
16	151	右下囲み3-4行	/əʁ/ /r/ /ka:r/にある /r/の斜体(3箇所)	相互に矛盾している。 (「アメリカ英語の音」との対応)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。